

◎イントラリポス注 [注]

【重要度】★ 【一般製剤名】20%100mL 中ダイズ油 20g [添加物の濃グリセリン 2.2g、精製卵黄レシチン 1.2g] (U) Soybean Oil 【分類】静注用脂肪乳剤

【単位】◎100mL/袋[20%]

【常用量】1日 100～250mL (20%液)、200～500mL (10%液)

【用法】20%250mL あたり 3 時間以上かけて点滴静注 [20%100mL なら 72 分以上；ダイズ油 1g 当たり 3.6 分以上かかる計算] [1 日脂肪量は 2g/kg 以内とする]

脂肪乳剤粒子のリポ蛋白化が TG 代謝の律速過程であり、0.1g/kg/hr 以下の速度で投与 (JSPEN 静脈経腸栄養ガイドライン 2021)

使用時は 24hr 毎にラインを交換

1.2 μm または 5 μm のフィルター使用を推奨 (ASPEN)

【透析患者への投与方法】減量の必要なし。ただしリンの負荷に留意 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし。ただしリンの負荷に留意 (5)

【特徴】少ない水分量で高カロリー補給が可能 (20%製剤で 2kcal/mL) で等張液のため末梢静脈から投与できる。体蛋白の消費を抑制し、必須脂肪酸を補給。P 含有量 (リン脂質由来) が 48mg/20%100mL (96mg/10%200mL)。Ca, K, Mg 含有量は微量である。

【主な副作用・毒性】静脈塞栓、ショック・アナフィラキシー、血管痛、出血傾向、肝障害、血圧低下、消化器症状など

【モニターすべき項目】血液凝固検査、血液像、血小板数、血清ビリルビン濃度、血清コレステロール濃度、肝機能、血清中性脂肪

【代謝】肝で代謝 (U)

【蛋白結合率】アルブミンと結合 (U)

【透析性】透析されない (1)

【相互作用】ダイズ油由来のビタミン K1 がワルファリンの作用に拮抗するため、ワルファリンの作用を減弱するおそれがある (1)

【備考】静脈炎、血管痛、発熱、嘔気・嘔吐、悪寒、顔面紅潮、頻脈、頻呼吸、胸部圧迫感などの急性症状を避けるため、1. ゆっくり注入する。2. 他の薬剤を混合しない [血漿増量剤 (デキストラン、ゼラチン製剤等) の投与後 96 時間までは本剤の投与を避ける]。3. 点滴静注時の液温が室温程度に保たれるようにする。などに注意を払う。連用する場合には肝機能、血中脂質濃度、血液像及び血液凝固能の検査を定期的に行う (1) ポリカーボネート製、可塑剤として DEHP を含む輸液セットは不可 (1)

【更新日】20231225

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。